

奈良中学校だより



よせと小と果を

令和7年度第6号 令和7年8月29日(金)発行

<学校教育目標>

「世界を小とせよ」奈良中生

- 【知】知性をみがく生徒 (コツツ)
- 【徳】愛情深き生徒 (ココ)
- 【体】体を鍛える生徒 (ワクワ)



奈良中キャラクター「ナラッキー」

4つの実践

- 朝ごはんをしっかり食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

③ 読運動

- 毎日1冊の読書をする。
- 読んだ本について感想を記入する。
- 読んだ本について発表をする。

いのちの大切さ

熊谷市立奈良中学校長 松永 哲

この夏も、奈良中生が様々な場所で活躍しました。体育祭の応援旗づくりや部活動の大会・コンクールだけでなく、ボランティア(大変参加率が高い)やクラブチームなど学校以外での活躍の報告もありました。何かに一生懸命取り組む姿をうれしく思いました。

夏休み中の学校は、生徒の声は少ないですが、校庭から大きなセミの鳴き声が聞こえてきます。セミの命は一般的に1週間といわれています。カラスに食べられてしまったり、人間に取られてしまったりするため、本来ならば1か月くらいは命があるそうです。それでも人と比べてあまりにも短いです。このように不確実で短い命のことを「はかない命」といいます。それに比べ、私たち人間は80年くらいです。確かに人間は、セミに比べれば長生きかもしれませんが。

しかし、それでもいつかは終わりがやってきます。一度失われてしまうと、他の命で代えることはできません。このように代えることができない命のことを「かけがえのない命」といいます。私たちは、はかなく、かけがえのない命を粗末にすることなく、大切にしなければなりません。

みなさんは、そんな命をもった友達に「死ね」とか「消えろ」などと口にすることはありませんか。たとえ冗談だったとしても絶対に口にしてはいけません。一人一人の命は、お父さん、お母さんがいたからこそ生まれてきたのであり、お父さんやお母さんもおじいちゃん、おばあちゃんがいたからこそ生まれてきました。命は今突然現れたのではなく、ずっと昔からバトンをパスするようにつながってきたものです。

残念ながら夏休みが終わるこの時期は、自分の命を自ら絶つ子供が最も多いそうです。思春期のみなさんには、こうした暴言だけでなく、人間関係や進路、家のことに関する悩みなど様々なストレスを抱えることも少なくありません。中には友達のを悩みを抱え込んでしまう人もいます。学校では、先生以外にも、ほほえみ相談員さんやスクールカウンセラーさんなど様々な人が皆さんを見守っています。苦しいとき、困ったときには一人で悩まず、周りの人に積極的に相談してください。前期も残り1か月半。体育祭や秋桜コンサートに向けた練習も本格的に始まります。夏のあいだに培った力をクラス・学年で存分に発揮してくれることを期待しています。



FMラジオに出演しました(7/2)

7月2日に、生徒会役員がFMクマガヤの生放送に出演しました。約15分のコーナーでしたが、一人一人が「奈良中の自慢」を語りました。会長の秋好くんからは「あいさつ」、副会長の吉岡さんからは「仲が良い」、同じく副会長の永崎くんからは「行事に全力」といった声がありました。おそらく生徒のみなさんも同じことを思っているかと思います。生徒会のメンバーが奈良中のよさを感じてくれていることに感動しました。



鶴の恩返し・英語版のお話を聞きました(7/3)

7月3日に、地域にお住いの森さんをお招きし、1年生を対象とした読み聞かせをしていただきました。内容は「鶴の恩返し」ですが、全編英語での語りです。わからない単語や、まだ習っていない文法もありましたが、ストーリーと知っている単語を頭の中で結び付けながら、一生懸命聞き取ろうとしていました。また、読み聞かせ後には、ことなさんによる臨時のお絵描き教室も開設しました。にゃおざねだけでなく、男の子と女の子の描き分けなど、こちらも大変楽しく学ぶことができました。貴重な体験となりました。



資源回収・アルミ缶回収へのご協力ありがとうございました (7/6)

7月6日に、今年度最初の資源回収を実施しました。今回はりそな銀行さんからも提供いただくなど、13tを越える資源が集まり、116,640円の収益となりました。担当の3年生が手慣れており、回収作業も大変スムーズでした。また、引き続き行われた月例のアルミ缶回収にもたくさんのご協力をいただきました。大変暑い中、回収にご協力いただいた皆様も合わせて感謝申し上げます。小中学校で大切に活用させていただきます。

※ 中学校では収益を部活動の振興に活用しています。昨年度は、ラグビー部と箏曲部の快挙を称える横断幕を作成しました。今後も小・中学校の学習環境の整備に活用させていただきます。引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。



県大会の結果

県大会の結果を報告します。熱い(暑い)戦いが繰り広げられました。

| | | | |
|----------------|----------|-----|-------------------|
| ○野球部 | 2回戦敗退 | 0-1 | 1 vs 鴻巣中 (5回コールド) |
| ○ラグビー部 | 準優勝 | 1回戦 | 40-12 vs 熊谷東中 |
| | | 準決勝 | 61-0 vs 深谷合同 |
| | | 決勝 | 0-19 vs 熊谷富士見中 |
| ○ソフトテニス部 (個人戦) | | ・ | ペア 2回戦敗退 |
| | | 1回戦 | 3-0 vs 川口戸塚中 |
| | | 2回戦 | 1-3 vs 川越福原中 |
| ○陸上部 | 男子砲丸投 | くん | 決勝 8m26cm |
| | 2年女子100m | さん | 予選 12秒55 |



TBS子ども音楽コンクール上尾大会に出場 (8/23)

箏曲部が8月23日に、TBSコンクール上尾大会(昨年度は川越会場、今年度は上尾会場のため名称が異なる)に出場しました。県のコンクールへの出場は4年連続となります。これも大変な快挙です。コンクールには1次審査を通過した8校が参加し、この中の1~2校が東日本大会に進むことができます。

この日に向けて音楽室だけでなく、体育館を使ってのステージ練習も繰り返してきました。今年の曲目は「上昇の彼方」です。当日は、これまででもっとも繊細で息のあった演奏を披露することができました。演奏後のほっとした表情が印象的でした。本当にお疲れさまでした。

※ 現在「優秀賞」を獲得しています。優秀賞を獲得した数校の中から最優秀賞に選ばれた学校が東日本大会に出場となります。最優秀賞が発表となる9月中旬を待ちたいと思います。



学力・学習状況調査結果

4月に3年生を対象に全国学力・学習状況調査(以下全国学調)、5月に全校生徒を対象に埼玉県学力・学習状況調査(以下県学調)を実施し、その結果が届きました。全国学調は、全国の中学校3年生の中で、自分がどの程度の学力なのかを見ることができます。一方、県学調は一人一人がこの1年間でどの程度学力が伸びたのか(より難しい問題を解くことができるようになったのか)を測ることができます。個人の結果表につきましては、前期の成績表とともに返却しますので、ご覧ください。

以下に学校全体の結果の概要をお知らせします。

- <1年生> 県平均と比較し、国語、数学、英語ともかなり高い結果となりました。文章で解答する問題の正答率が高いです。また、知識を問う問題がよくできており、授業で習ったことがしっかり身についています。家庭学習が習慣となっていることがわかります。
- <2年生> 国語は県平均と同程度、数学と英語は県平均を上回っています。漢字・計算・英単語などの知識を問う問題の正答率が高いです。また、数学では特に関数の分野が、英語では話を聞き取ったり、記述された情報を読み取ったりする問題がよくできています。
- <3年生> 国語と数学は県平均と同程度、英語に課題が見られます。ただ、英語が苦手な人ほど大きな伸びが見られました。基礎・基本が着実に身につけてきています。入試に向けて問題形式で正しい解答が導けるよう勉強を進めましょう。
- <質問紙> どの学年も共通して、「先生や友達に認められている」と感じている割合が高く、自己肯定感が高い生徒も多いです。また、「地域に興味がある」と回答した割合が高く、地域を大切に考えています。授業や家庭学習にも前向きに取り組んでいることがわかりました。

こうした結果を踏まえ、校内でも研修を行い、よりよい授業・学級づくりを進めていきます。ご家庭におかれましては、家庭学習等、引き続き学習内容の定着に向けたご指導をよろしくお願いいたします。